

八代港の概要

1. 沿革

- 八代港は、熊本県南の山岳地帯を流れ、八代海に注ぐ「球磨川」の河口部に位置し、古くから豊富な農林水産物の集散の場、海外交易の要衝として栄え、八代地方の政治・経済・文化の発展に、大きな役割を果たしてきました。
- 本港が、近代的な港湾として誕生したのは、明治時代に蛇籠地区に-1.5mの物揚場が整備され、物資の輸送等海上交通の基地としての機能を備えたからです。
その隣接地への日本セメントの立地 (M23) を皮切りに、十条製紙 (T11)、興国人絹 (S12)、三楽オーシャン (S14) と相次いで工場が進出し、これらにより八代市は南九州随一の工業都市へ発展し、それに伴い港湾の重要性も飛躍的に増大することとなりました。
- 臨海工業用地の造成や大企業の立地に伴って港湾機能は急速に強化され、さらに臨海部への企業進出の要請に応えるため、加賀島地区 (74.6ha) を埋立、緑地・工業用地・埠頭用地等の利用が計画されています。
- H24年頃からクルーズ客船の寄港が始まり、H29年には年間65隻のクルーズ客船が寄港しました。H31.4月には世界中で特に人気の高いクイーン・エリザベス号の初寄港が実現しました。
- 国際クルーズ拠点 (くまモンポート八代) がR2.2月に完成しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大によるクルーズ客船運航休止のため、同年4月の供用開始を延期、併設の公園施設 (くまモンパーク) のみ利用者を八代市民に限定してR2.10月にプレオープンしました。(R2.11月利用者を県民まで拡大)

【年表】

- ・ 1872 (M05) : 蛇籠港の整備 (水深-1.5m、物揚場 86m)
- ・ 1890 (M23) : 日本セメント八代工場立地
- ・ 1896 (M29) : 十条製紙坂本工場立地、九州鉄道開通 (現在の鹿児島本線 : 熊本～八代間)
- ・ 1908 (M41) : 鹿児島本線開通 (現在の「肥薩おれんじ鉄道」)
- ・ 1922 (T11) : 十条製紙八代工場立地、内務省指定港湾
- ・ 1937 (S12) : 日本曹達パルプ(株)八代工場立地 (現 : (株)興人・八代工場)
- ・ 1939 (S14) : 昭和酒造(株)立地 (三楽オーシャン八代工場で、現在のメルシャン(株)八代工場)
- ・ 1948 (S23) : 港則法適用港、四建八代工事事務所開設
- ・ 1951 (S26) : 検疫港指定
- ・ 1955 (S30) : 熊本県八代港務所設置 (3月)
- ・ 1959 (S34) : 重要港湾指定 (S34.6.11)、港湾計画策定
- ・ 1961 (S36) : 国直轄工事として外港建設に着手
- ・ 1964 (S39) : 「不知火・有明・大牟田地区」新産業都市指定
- ・ 1965 (S40) : 大島臨海工業用地造成着手 (農林省から農地 255ha を県が転用払下)
- ・ 1966 (S41) : 関税法上の開港指定 (貿易港としての開発指定)
- ・ 1967 (S42) : 植物防疫法による木材指定港指定、県八代管理事務所にて名称変更 (9月)
- ・ 1972 (S47) : 熊本くみあい飼料第1工区立地 (現 : JA北九州くみあい飼料(株)・熊本工場)
- ・ 1974 (S49) : YKK (吉田工業) 第1工区立地 (現 : (株)YKK AP・九州事業所)
- ・ 1979 (S54) : 八代市終末処理場 第3工区立地、事務所を所在地へ移築 (3月)
- ・ 1980 (S55) : 九州縦貫道自動車道八代インター開通
- ・ 1989 (H01) : ヤマハ発動機 (現ヤマハ熊本プロダクツ(株)) 進出協定、都市計画公園工事着手、九州縦貫道が人吉まで開通
- ・ 1990 (H02) : 丸紅、寿屋第3工区進出協定
- ・ 1994 (H06) : 外国産食糧の輸入港指定
- ・ 1995 (H07) : 港湾計画改定 (大島北-14m・2バ-スほか、大島西-12m・2バ-スほか)
- ・ 1999 (H11) : 韓国 (釜山) とのコンテナ定期航路開設 (2航路、6/18、7/1)
- ・ 2009 (H21) : 国内コンテナ定期航路の開設 (八代～博多～神戸)
- ・ 2010 (H22) : 重点港湾に指定 (H22.8.9)
- ・ 2013 (H25) : 韓国 (釜山) コンテナ定期航路増 (6/1)、中国 (大連、上海) コンテナ定期航路開設 (7/23、8/24)、国内 (神戸) コンテナ不定期航路開設 (8/26)、特定港に指定 (H25.10.01)
- ・ 2017 (H29) : 国際クルーズ拠点に選定 (H29.01.31)。年間65隻のクルーズ船寄港を実現。

外港-12m岸壁で新コンテナターミナル拡充整備工事竣工。(大型ガントリークレーン1基新設、ヤード面積 4.8ha から 5.6ha へ拡張)

- ・ 2018 (H30) : 家畜伝染病予防法に基づく動物検疫上の携行品に係る指定港に指定 (9/10 指定、クルーズ船の寄港増に伴うもの)
- ・ 2020 (R02) : 国際クルーズ拠点 (くまモンポート八代) 整備工事竣工 (R2. 2. 28)。新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるクルーズ客船運航休止のため R2. 4 月の供用開始は延期。

2. 八代港の施設及び航路

- (1) 港湾区域 約 4,389ha (認可 S28. 9. 30、変更 ①S42. 3. 29 ②S55. 12. 16 ③H4. 4. 24 ④H20. 2. 4)
- ・ 臨港地区 : 約 445.9ha (指定 S40. 4. 10、変更 ①S46. 8. 28 ②S49. 9. 17 ③H9. 4. 4 ④H18. 12. 6)
 - ・ 港則法/適用 : S40. 6. 22 ※臨港地区 : 加賀島地区 (74.6ha) を除くと、約 372ha。
 - ・ 関税法/開港 : S41. 4. 1 (東京ドーム (約 4.7ha) の約 80 個分。)

(2) 主な港湾施設

① 係留施設

区分	地区	施設名	延長	能力(t)	隻	主要取扱貨物	特記事項
公共	外港	-12.0m岸壁	200m	30,000	1	コンテナ	-12m岸壁:新コンテナターミナル、H30.4 供用開始
		-14.0m岸壁	280m	50,000	1	穀物	
		-10.0m岸壁	740m	15,000	3	木材チップ、原木	
		-9.0m岸壁	165m	10,000	1	セメント	
		-7.5m岸壁	260m	5,000	2	金属くず	
		新岸壁	410m	220,000	1	クルーズ専用	
	内港	高速旅客船用浮棧橋	1基	—	—	1	クルーズ旅客用
		-7.5m岸壁	520m	5,000	2	砂・砂利	その他: -3.0m物揚場5バース(砂・砂利)
		-5.5m岸壁	720m	2,000	8	セメント、砂・砂利	
		-4.5m岸壁	540m	1,000	7	作業船係留	
		フェリー棧橋	60m	1,000	1	フェリー専用	
		西浮棧橋	44m	70	2	旅客船専用	
		東浮棧橋	44m	70	2	給油船	
		蛇籠港浮棧橋	324m	20	50	漁船・遊漁船	
千反港浮棧橋	220m	20	30	漁船			
専用	外港	三菱宇部セメント	32m	5,000	1	セメント	
		トクヤマ	32m	5,000	1	セメント	
		熊本組合飼料	22m	2,000	1	飼料	
		横場工業	42m	2,000	1	鉄製品	
	内港	熊本ドック	184m	4,000	4	造船業	
		メルシャン	23m	1,000	1	アルコール	
	大島	新日本石油	56×2	2,000	2	石油製品	
		コスモ石油	56×2	2,000	2	石油製品	

② 公共上屋 : 6棟 = 11,439.64 m²

区分	種類	名称	管理者	総床面積(m ²)	構造	主要取扱品	隣接岸壁
公共	上屋	県営1号	港湾管理者	1,233.13	RHSレート	飼料	内港-4.5m
		県営2号		1,999.62		紙製品	内港-5.5m
		県営3号		2,400.00		鋼材・鉄製品	外港-10.0m
		県営4号		2,106.88		紙製品	内港-5.5m
		県営5号		2,400.00		飼料	外港-10.0m
		県営6号		1,300.01		飼料	内港-4.5m

③ 公共野積場・野積場・荷捌地

区分	種類	名称	管理者	敷地面積(m ²)	箇所	備考
公共	野積場	内港野積場	港湾管理者	115,730.19	14	
		外港野積場		282,405.22	14	

④ 待合所

区分	種類	名称	管理者	総床面積(m ²)	構造	備考
公共	待合所 可動橋	八代港待合所 可動橋	港湾管理者	207 1基	RCコン	
民間	待合所	旅客ターミナル	ロイヤルカリビ アン社	3,500	RCコン	

⑤ 緑地、駐車場

区分	面積 (ha)	管理者	主な施設	備考
外港緑地	1.2	港湾管理者	児童公園	
くまモンパーク	2.7	ロイヤルカリビ アン社	日本庭園、ビッグくまモン、多 目的芝生広場、フードコート等	R2.10月プレオープン
外港駐車場	4.4	港湾管理者	大型バス：最大150台 タクシー、乗用車：最大120台	

⑥ その他施設等

- ・臨港道路：約32km
- ・給水施設：船舶給水（内港・外港）
- ・航路標識：灯台2箇所、灯浮標12箇所、浮標6箇所
- ・コンテナ施設：ガントリークレーン2基（うち1基H30.4月新設供用開始）
ストラドルキャリア（H11年5月供用開始）
リーファーコンテナ電源24口（R2.11月供用開始）
コンテナ流出防止柵（R3.4月供用開始）
- ・SOLAS施設：フェンス総延長2,966m（H16.2.23供用開始、-12m岸壁側868m H30.4月供用開始、新岸壁側346m R2.4月の供用開始は延期予定）

(3) コンテナ航路（R3.6.1現在）

① 国際（定期）コンテナ：八代～釜山航路3便/週（月、火、木）、八代～台湾航路1便/週（金）

- ・月曜運航 興亜LINE(株) (HEUNG A LINE) H11.6.18開設 代理店：松木運輸(株)
 - ・火曜運航 高麗海運(株) (KMTC) H11.7.1開設 代理店：日本通運(株)八代支店
 - ・木曜運航 長錦商船(株) (SINOKOR) H25.6.1開設 代理店：松木運輸(株)
 - ・金曜運航 愛媛オーシャン・ライン(株) (I-LINE) R3.1.9開設 代理店：八代港湾倉庫(株)
- ※愛媛オーシャン・ライン(株) (I-LINE)は、R3.6.19から土曜運航へ変更。

② 国内（不定期）コンテナ：八代～神戸航路

- ・月曜運航 井本商運 (OOCL) H25.8.26開設 代理店：日本通運(株)八代支店

〔参考〕

令和2年（2020年） 八代港取扱貨物量（上位10品目）

- 1 セメント 933,394トン（移入：90.0%。福岡・山口等から移入。）
・全体の23.2%。県内で使用されるほとんどを供給し、建設事業を支援。
 - 2 木材チップ 495,948トン（輸入：99.6%。ベトナム、ブラジル等から輸入）
・全体の12.3%。製紙工場の新聞紙等の紙製品の原料。
 - 3 とうもろこし 400,498トン（輸入：99.6%。アメリカ、ブラジル等から輸入）
・全体の10.0%。配合飼料として、県内の畜産農家へ供給。
 - 4 その他石油 303,162トン（移入：99.9%。大島石油基地扱い。山口・岡山・大阪等から移入）
 - 5 揮発油 284,100トン（移入：100%。大島石油基地扱い。山口・大阪・岡山等から移入）
・その他石油、揮発油合わせて全体の14.6%。県内需要の約7割を供給し、県内エネルギーの供給拠点。
（※その他石油：灯油、軽油、潤滑油等 ※揮発油：ガソリン）
 - 6 砂利・砂 253,641トン（移入：96.2%）
 - 7 石炭 221,627トン（輸入：97.0%。オーストラリア、ロシア等から輸入）
・全体の5.5%。製紙工場等の燃料として使用。
 - 8 動植物性製造飼肥料 165,258トン（輸入：70.0% 移入：29.5%）
 - 9 重油 135,462トン（移入：100%）
 - 10 化学薬品 132,935トン（輸入：44.3%）
- ☆ バルク貨物とコンテナ貨物の割合（R2年輸出入） ※ 輸出：輸入 = 13：87
（輸出）バルク：コンテナ = 162.7千トン：61.1千トン = 73：27 （※R1= 67：33）
（輸入）バルク：コンテナ = 1,419.4千トン：108.3千トン = 93：7 （※R1= 93：7）